

令和4年度 学校教育努力点（案）

研究主題 「やるぞ！できるぞ！なりたいぞ！」“たカラフル”に学び続けるたからっ子
～目的意識をもたせる導入の工夫を取り入れた授業づくり～

目指す姿 目的を意識し自分らしい学びを積み重ねることで、自己肯定感の高まった子ども

1 研究主題の設定について

(1) 取り巻く状況と要請

2030年の未来を見据えて改訂された学習指導要領が実施され、2年が経過した。GIGA スクール構想と並行して、授業における学習の個性化と指導の個別化への移行が、顕著に行われている。本市では、令和4年度から、新たに学校教育の努力目標を「ともに学び 自分らしく生きる」とし、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を重点としている。また、各学校が子どもにとって安心・安全で幸せな居場所となるような、学校づくりの取り組みも重点とされている。この教育目標設定の理由と関わって、日本の子どもの幸福度や自己肯定感が、先進国の中でも極端に低いことが頻繁に話題となっている。この原因としては、子どもたちに「なぜ学ぶのか」「なぜ学校に行かなければいけないのか」の目的意識が欠如していることと、制限や足並みをそろえるばかりの校則やきまりなどによって「自分たちの考えが反映される学びや学校づくり」の体験が不足していることが考えられる。そして、学びの目的を明確にすることや、子どもたちの考えを基にした学校づくりは、全国の学校においても積極的に研究が進められている。

(2) これまでの本校の取り組みと課題

本校では過去3年間に渡り“‘そうか！なるほど！もっとできるぞ！’であふれるたからっ子～どの子にとっても有効な支援を工夫した授業づくり～”を研究主題として、実践を積み重ねてきた。1時間の授業の流れの視覚化や、単元表を使って学習を見通す焦点化、非認知能力の自覚を中心とした自己評価と振り返りなどを行ってきた成果として、子どもたちの学びに向かう力と自己肯定感を、多方面の手立てからのアプローチによって高めることができた。その反面、課題としては、学びに対する目的意識が、やや欠如していることが課題として挙げられた。学びに向かう力は高まったものの、その力が自分たちの未来にどう生かすことができるかという目的までは、十分に意識させることができなかった。また、授業終盤の自己評価において、仲間と相対的に比較した視点で学習を振り返る子もおり、自分らしい学びを十分に意識できていない子どももいた。そこで本年度からは、これまで各教科の研究で積み重ねてきた手立てを踏襲しつつ、学校教育全体において、学びの目的意識をもたせ、一人一人が自分らしい学び（“たカラフル”な学び）を構築させることで、子どもたちが未来を生きるための基盤となる、自己肯定感を高めていきたいと考えた。

2 研究の方法

(1) 研究の教科及び領域

特色ある行事や活動を軸として、各教科・領域と関連させて展開していく

（たかみなタイム、宝フェスタ、たてわりの活動、運動会、中津川、修学旅行、校外学習など）

(2) 授業づくりの共通認識

本年度は、特に単元の**導入において学びの目的意識を持たせる手立て**に重点を置き、子どもたちが明確な目的意識をもって、学習に取り組むことができるようにする。また、学びの積み重ね方、学びへのフィードバック、学びの振り返りなどの手立ても実態に応じて取り入れることで、自分らしい学びを積み重ねることができると思う。

① 導入において学びの目的意識を持たせる工夫【令和4年度重点】

例) ・ 動画による視覚的に分かりやすい課題提起

- ・ 5W1Hによる個別の課題設定

(※教育センター授業づくりハンドブック「プロジェクト型学習術」参照)

- ・ 他教科との関連や連続性を意識させる導入 など

② 自分らしい学びの積み重ね方の工夫

例) ・ 単元進行表の多様なグラフ化 (折れ線、棒グラフなど)

- ・ OPPA (ワン・ページ・ポートフォリオ・アソシエーション) による累積 など

③ 学びへのフィードバックの工夫

例) ・ 他学年への中間発表やインタビュー

- ・ 家庭との連携

- ・ 職員 (南養護も含む) インタビュー など

④ 学びの自己評価の工夫

例) ・ 非認知能力

- ・ ルーブリック など

(3) 研究の見通し

本研究主題による実践は、3か年計画で、授業づくりの重点を以下のように置きながら行っていく。

	授業づくりの重点	実践の例
令和4年度	目的意識をもたせる 単元の導入	○ たかみなタイム ○ たてわり活動
令和5年度	自分らしい学びの 積み重ね方	○ 宝フェスタ ○ 運動会
令和6年度	学びへのフィードバックと 自己評価	○ 買い物計画・体験 ○ 宝寿会との活動 ○ 学区探検 ○ 交通安全教室 ○ 調理実習 ○ 学区清掃活動